**2021．3．13**

**年次支部協議会広報部　2020年度中間事業報告＆2021年事業計画**

**事業概要と目的**

学員全体の緊密なネットワーク作りを構築する一環として会報を発行し、HP推進と共に年次支部協議会の広報活動を活性化させ中央大学の貢献に寄与する。学員と学生・教職員への広範囲な取材活動を通じ、大学関連行事、支部活動の情報提供を行い、各支部の相互理解、世代間の連携、交流を深めることを目的とする。さらに新卒業生に対しても学員会、年次支部協議会の活動内容を積極的にPRし、若い年代層の参加を促し、卒業後のサポート体制作りを推進する。

**2020年度中間事業報告**

2020年は新型コロナウィルス感染症の影響で、大学、学員会のほとんどの行事が中止となったのに加え、外出や自粛要請で取材活動などにも支障があった為、2020年度の年次支部ニュースの定期的な年2回

発行は取りやめ、2020年秋号は休刊とし、2021年3月に14号のみの発行とさせて頂いた。

**＜第14号掲載記事概要＞**

●巻頭言に久野学員会会長から新卒業生へ祝辞。

●新卒業生を代表して、陸上部長距離（箱根駅伝）の池田主将ほか9名の4年生選手達へQ＆Aのアンケートを実施し、4年間の選手生活、箱根駅伝へのそれぞれの思い、進路などの記事。

●今年2月北区に都内初の記念館がオープンする渋沢栄一氏（2021年NHK大河ドラマの主人公であり、2023年の1万円札の新たな顔）の話題と、中央大学駿河台記念館の未来予想図などについての記事。

　（北区支部長でもある大木田学員会副会長）

●コロナ禍での白門45会支部の卒業50周年の記事（相場白門45会支部長）。

●職域支部・南甲倶楽部と経済界で活躍中の中大OB達を紹介。

●学員会副会長、年次支部協議会顧問の柳田氏の【民間教育最高功労賞】受賞記事。

●年次支部協議会学生後援部の活動紹介（キャリア支援イベント、準硬式野球部応援）

●年次支部協議会大学・学員交流部の活動紹介

（OB向け経済学部ゼミ学生によるオンラインプレゼン大会開催）

●中大硬式野球部と巨人2軍のプロアマ交流戦報告など奮闘中の阿部慎之助新監督の記事。

●活躍した文化部門、スポーツ部門での紹介記事、卒業式・入学式案内、学員会からのお知らせほか。

**発行部数、費用**

14号　発行部数　7,100部（配布先、準会員（新卒業生）6,500部、各年次支部、本部その他600部）

　　　 発行費用　￥407,500　　郵送費他　￥5,000　　合計　￥412,500

　　　本部への申請　￥407,500

**2021年度事業計画**　年2回発行予定

15号～1,000部発行予定（内容～支部紹介、活動報告などを中心にした各年次支部便り、学生の取り組み等）

16号～7,000部発行予定（年次他1000部、準会員6500部、準会員の卒業特集中心にした記事ほか）

**予算**　　総額　￥700,000　　本部申請額　￥700,000　予定

以上